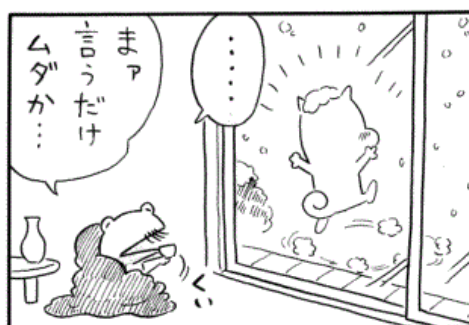


3R瓦版（2月号）

負けるな!
エコお00くん
作：フジコイトウ



窓を制するものは省エネを制す！？

窓は断熱の中でとっても重要な場所です。

冬の暖房時には約 50%の住まいの熱が窓から外に出ていくと言われています。そんな窓の断熱性を決めるのは、ご存じの通りサッシ（枠の部分）とガラスの組み合わせです。

	構造	熱が逃げる度合い
	樹脂サッシ+高断熱複層ガラス	35.7
	木製サッシ+高断熱複層ガラス	35.7
	アルミサッシと単板ガラス+樹脂内窓と複層ガラス	35.7
	アルミサッシ+複層ガラス	71.4
	アルミサッシ+単板ガラス	100

※アルミサッシ+単板ガラスを 100 とした場合の比較です

サッシの断熱性は、素材の熱伝導率（熱の伝わりやすさ）に左右されます。通常使われているアルミサッシに比べて伝導率ははるかに低い「樹脂サッシ」や、アルミと樹脂を組み合わせた「アルミ樹脂複合サッシ」、「木製サッシ」などを使うと断熱性は大きく向上します。

ガラスには、単板ガラス、2枚のガラスで空気を挟み込んだ複層（ペア）ガラス、さらにガラスに特殊金属膜をコーティングした Low-E 複層ガラスなどがあり、複層ガラスや Low-E 複層ガラスを使うと熱を通しにくくなります。窓はサッシ部分とガラス部分の両方から熱が逃げるので、どちらも断熱化するのが効果的。（注：断熱効果が高いほどもちろんお金はたくさんかかります！！）

夜、トイレまで行くときの廊下の寒さを体験したことはありませんか？ またカーテンに付着したカビを見たことはありませんか？

窓断熱を行うことで、コールドドラフト現象（窓辺などで冷やされた空気が重くなって、下降気流をつくり滝のように床に流れる現象）を防ぐことや、結露が原因で起こるジメジメ感、カーテンなどに発生するダニやカビの発生によるアレルギーなど、健康被害の防止にもつながります。

窓断熱をすることは省エネになるということだけではなく、健康で快適な生活を手に入れるためにもとても重要なんですね。

EB KAMEOKA DENSHI

亀岡電子株式会社
環境委員会 総務グループ
中嶋 佑介

RepairFactory (株)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel : 0774-46-4654